

東京都済生会中央病院を受診された患者さんへ（臨床研究に関する情報）

東京都済生会中央病院では以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご連絡ください。

〔研究課題名〕

A Y A 世代のがん患者の緩和ケアの現状と課題

〔研究機関名及び研究責任者氏名〕

この研究が行われる研究機関と研究責任者は次に示すとおりです。

研究機関 東京都済生会中央病院

研究責任者 がん診療統括センター 三浦美和子

担当業務 個人情報管理者

〔研究意義〕

15歳から39歳のがん患者は思春期成人（adolescent and young adult）世代がん患者は、AYA患者と呼ばれ、高齢者のがん患者と比較して、AYA患者は治療、不妊カウンセリング、心理社会的・ケアサービスに関して独自のニーズを持っています。他の世代に比べて患者数が少なく、ニーズも多様であり、患者視点での教育、就労、生殖機能の温存等に関する情報・相談体制等が十分出ない現状があります。がん患者の生涯を支援していく考える上で、AYA世代の全人的苦痛や緩和ケアのニーズについて研究することに意義があると言えます。

〔研究目的〕

本研究は、AYA世代のがん患者を対象とし、全人的苦痛の把握、緩和ケア介入のニーズについて明らかにすることを目的としています。

〔研究の方法〕

対象となる患者様は、2016年4月1日から2022年12月31日までの6年9ヶ月間に東京都済生会中央病院に入院し緩和ケアチームの介入があった20歳以上から40歳未満までの

がん患者の方です。

この研究は東京都済生会中央病院の倫理委員会の承認を受けて実施するものです。利用するカルテ情報は以下のとおりです。

年齢、性別、疾患名、がんの部位、主診療科、患者様の日常生活の制限の程度にあたるパフォーマンスステータス、がんの治療の状況、介入依頼内容、終診理由となります。特に新たに患者様にご負担いただくものありません。

[個人情報の取り扱い]

この研究に関わって収集され試料や情報・データ等は外部に漏洩することが内容に慎重に取り扱う必要があります。利用する情報からは、お名前、住所など、患者様を直接同定できる個人情報は削除します。また研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。また、ご自身のデータを研究に利用することを承諾されない方は[問い合わせ先]にご連絡ください。その場合も診療上何ら不利な扱いを受けることはありません。

この研究に関して開示すべき利益相反関係はありません。なおあなたへの謝金はありません。

[問い合わせ先]

東京都港区三田 1-4-17

東京都済生会中央病院 がん診療統括センター

担当：三浦美和子

電話 03-3451-8211(内線 3773)